

「ASEAN 諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成」

神戸大学大学院 保健学研究科
国際保健学専攻
尾崎 鈴佳

[場所]

インドネシア インドネシア大学・医学部

[日程]

2013年1月29日～1月31日

1月29日 午前：学生セミナー打ち合わせ
午後：研究室の見学

1月30日 午前：学生セミナーの打ち合わせ
午後：病院見学

1月31日 学生セミナー

[目的]

学生主催で開かれる、学生の研究発表会に参加し、研究発表を行う。また、インドネシア大学の学生とのディスカッションを通し、インドネシアでどのような研究が行われているかを理解するとともに、国際理解を深める。

[研究室見学]

私は現在インドネシア大学に留学しており、現在研究を行っているラボの説明を改めて受ける形になった。このラボは JICA の技術協力を受けているので、設備は整っており、日本と変わらない研究ができています。また、バイオセーフティーレベル3の部屋もあり、インドネシアの中でも高度な設備が整っていると言えるだろう。

私はこの留学中に、このラボ以外にもラボ見学をさせてもらったが、全てのラボが日本と同じレベルでの研究活動ができるというわけではないというのが現状である。

[病院見学]

インドネシア大学医学部の学生に、インドネシア大学に隣接する病院の案内をしていただいた。今回は救急部門の見学をさせていただいた。救急部門は綺麗な建物で、広さも十分に確保されている印象だった。しかし、病院の中には暑い中冷房もない廊下で、診察を待っているであろう患者さんたちがたくさん見られた。日本とは違う医療現場の現状を知る事ができたと思う。

また、インドネシア大学の医学部生が解剖の実習を行う教室も見学させていただいた。この解剖実習室には、非常に多くの組織の標本が置かれていて、ヒト以外にも様々な動物の標本が置かれていた。

[学生セミナー]

学生セミナーは、学生主催で行われた。私は、インドネシア大学に留学しており、この学生セミナーのために、インターナショナルオフィスの方たちと事前に、日程や会場などについて打ち合わせをしていた。学生たちだけのセミナーの打ち合わせでは、まず自分たちの自己紹介、研究概要の説明などを行い、セミナーの細かい事を決定していった。セミナーは4つのセクションに分け(vaccine, infection, drug, basic research)、発表時間10分、質疑応答5分で行われた。私は vaccine グループにおいて発表を行った。また、私は infection セクションにおいて司会を務めた。



学生セミナーの打ち合わせ風景



学生セミナーの会場

[まとめ]

この学生セミナーを通し、インドネシア人学生の英語能力の高さに驚いた。インドネシアの大学では、英語論文の提出が卒業の必要条件であるなど、日本とは違った英語の学習環境が整えられている。研究活動を行うにあたり、英語能力は必須条件であると言える。私自身、インドネシア大学での留学を通し、インドネシア人学生の英語能力の高さに驚き、同時に自身の英語能力の拙さを痛感する事となった。ますます英語能力の向上に努めようと、考えるきっかけとなった。

また、インドネシア大学の学生の研究内容や、他の神戸大学の学生の研究内容を聞かせていただき、様々な分野について興味を持つ事ができた。学生主催で行うセミナーという貴重な機会に参加でき、いい刺激を受ける事ができた。このような機会があればまた挑戦したいと思った。

